

# C言語勉強会

# お品書き

- 前回のおさらい
- 演算子
- 型
- 配列
- ポインタってなーに(さわり)
- 次回への布石。

# 1. 前回のおさらい

おまじないってなんだろう？

```
1  #include <stdio.h>↓
2  ↓
3  ↓
4  int main(void)↓
5  {↓
6  ↓
7  → printf("Hello, World!");↓
8  ↓
9  → return (0);↓
10 }
```

# 解答

```
1  /*参照するライブラリを指定*/↓
2  #include <stdio.h>↓
3  ↓
4  ↓
5  /*cファイルの中での関数の定義*/↓
6  /*戻り値の型 関数名 (引数(関数に渡さなくてはならない値))*/↓
7  int main(void)↓
8  {↓
9  ↓
10 → /*printf-出力関数-*/↓
11 → /*関数名(引数);の形で使う。*/↓
12 → printf("Hello, World!");↓
13 ↓
14 ↓
15 → /*戻り値の返し方*/↓
16 → /*return (戻り値);として返す。*/↓
17 → //宣言時の型とあっていないと怒られるので注意。↓
18 → //実は必ずしも値を返す必要はない。↓
19 → return (0);↓
20 }
```

前回出て  
きた出力  
関数と繰  
り返し構  
文

- **printf**
- **for文**
- **While文**
- **do...while文**

前回出て  
きた出力  
関数と繰  
り返し構  
文

---

printf

←標準出力関数、  
第一引数を出力

---

for文 ←繰り返す回数がわかってると  
きに使う

---

While文 ←繰り返す回数がわからないと  
きに使う

---

do…while文 ←1回以上繰り返したいと  
きに使う

無限ループは絶対に回避してね!!!!

## 2. 演算子

---

**算術演算子**(四則演算や、剰余)

---

**代入演算子**(前回ちょっぴり触れたイコールの話)

---

**論理演算子**(かつ(論理積)、または(論理和)、排他的論理和)

---

**比較演算子**(代入演算子とごっちゃにならないように…)

---

**三項演算子**(多用しないように注意だけど、他の言語でも似たものがあるので扱いますー)



# 算術演算子

## 演算子

## 意味

+	足し
-	引き
*	掛け
/	割り
%	剰余

# 代入演算子

演算子	意味
$x=y$	<b>xをyに代入</b>
$x+=y$	$x + y$ をxに代入
$x-=y$	$x - y$ をxに代入
$x/=y$	$x / y$ をxに代入
$x\%=y$	$x \% y$ をxに代入

# 論理演算子

演算子	意味
$A \ \&\& \ B$	$A \ \text{AND} \ B$
$A \    \ B$	$A \ \text{OR} \ B$
$!$	NOT

# 比較演算子(1)

演算子	意味
$x == y$	<b>xとyが等価であるか？</b>
$x != y$	<b>xとyは等しくないか？</b>
$x < y$	xはyより小さい(未満)
$x > y$	xはyより大きい

# 比較演算子(2)

演算子	意味
$x \leq y$	x はy以下である
$x \geq y$	xはy以上である

# 間違えやすい演算子まとめ

演算子	意味
$x=y$	$x$ に $y$ を代入
$x==y$	$x$ と $y$ は等しいか？
$x>=y$	$x$ は $y$ 以上
$x(\text{算術演算子})=y$	$x(\text{算術演算子})y$ の結果を $x$ に代入

# インクリメント・デクリメント演算子

演算子	意味
$x++$	?
$++x$	?
$x--$	?
$--x$	?

# インクリメント・デクリメント演算子

演算子	意味
$x++$	(後置演算) $x$ に1足して $x$ を評価
$++x$	(前置演算) $x$ を評価してから $x$ に1足す
$x--$	(後置演算) $x$ から1引いて $x$ を評価
$--x$	(前置演算) $x$ を評価してから $x$ から1引く



# 後置演算と前置演算の例

- Q.右のコードでは出力結果はどうなるだろう？

```
1  /*参照するライブラリを指定*/↓
2  #include <stdio.h>↓
3  ↓
4  /*戻り値の型 関数名 (引数の型)*/↓
5  int main(void)↓
6  {↓
7  →   int i = 0;↓
8  ↓
9  →   /*後置演算子*/↓
10 →   printf("increment after\n");↓
11 →   while (i++ < 5)↓
12 →       printf("Hi!");↓
13 ↓
14 →   /*変数の初期化。これをしないとiは5のまま*/↓
15 →   i = 0;↓
16 ↓
17 →   /*前置演算子*/↓
18 →   printf("\nincrement before\n");↓
19 →   while (++i < 5)↓
20 →       printf("Hi!");↓
21 ↓
22 ↓
23 →   /*main関数の戻り値*/↓
24 →   return 0;↓
25 }↓
26 ↓
```

# 後置演算と前置演算の例

- A. 以下のような出力結果になるよ

increment-after↓

Hi!Hi!Hi!Hi!Hi!↓

increment-before↓

Hi!Hi!Hi!Hi!

```
1  /*参照するライブラリを指定*/↓
2  #include <stdio.h>↓
3  ↓
4  /*戻り値の型 関数名 (引数の型)*/↓
5  int main(void)↓
6  {↓
7      int i = 0;↓
8      ↓
9      /*後置演算子*/↓
10     printf("increment-after\n");↓
11     while (i++ < 5)↓
12     {
13         printf("Hi!");↓
14     }
15     /*変数の初期化。これをしないとiは5のまま*/↓
16     i = 0;↓
17     ↓
18     /*前置演算子*/↓
19     printf("\nincrement-before\n");↓
20     while (++i < 5)↓
21     {
22         printf("Hi!");↓
23     }
24     /*main関数の戻り値*/↓
25     return 0;↓
26 }
```

# 後置演算と前置演算の例

A. 以下のような出力結果になるよ！

increment-after↓

Hi!Hi!Hi!Hi!Hi!↓

increment-before↓

Hi!Hi!Hi!Hi!

←0から1ずつ増えて5  
になって条件を満たさ  
ないから処理をしない  
で終わる

↑1から1ずつ増えて5になって条  
件を満たさないから処理をしない  
で終わる

```
1  /*参照するライブラリを指定*/↓
2  #include <stdio.h>↓
3  ↓
4  /*戻り値の型 関数名 (引数の型)*/↓
5  int main(void)↓
6  {↓
7      int i = 0;↓
8      ↓
9      /*後置演算子*/↓
10     printf("increment after\n");↓
11     while (i++ < 5)↓
12     {
13         printf("Hi!");↓
14     }
15     /*変数の初期化。これをしないとiは5のまま*/↓
16     i = 0;↓
17     ↓
18     /*前置演算子*/↓
19     printf("\nincrement before\n");↓
20     while (++i < 5)↓
21     {
22         printf("Hi!");↓
23     }
24     /*main関数の戻り値*/↓
25     return 0;↓
26 }
```

# おまけ

---

- **sizeof**は演算子だよ！

演算子	意味
<b>sizeof(型名や変数)</b>	型名や変数の大きさを返す！

## 3. 型

---

型の種類

---

データ型の種類(今回はやら  
んでおこう)

---

型修飾子

# 型の種類

実行環境によって異なる

型名	意味	最大値	大きさ
void	型なし	-	-
char	文字型	-128 ~ 128	1
int	整数型	-2147483648~2147483647	4
float	単精度浮動小数点型	-3.402823e+38 ~ 3.402823e+38	4
double	倍精度浮動小数点型	-1.797693e+308~1.797693e+308	8

# 型修飾子の種類(頻出物のみ)

型名	意味
unsigned	符号なし
const	定数(キャストしないと中身を変えられない)

# おまけ

---

sizeofで大きさを確認  
してみよう！

---

printfの使い方も  
ちょっと拡張してみよう



# printfの使い方

- 定義

**型**-> int型 :出力した文字数をバイト数で出力

**引数**->可変長引数。第一引数はconst char\*  
型

- 主な使い方

**書式指定子**を第一引数の間に配置し、そこに対応した第二引数以降を表示する。

# 書式指定子

型に対応している。

書式指定子	対応する型	説明
<b>%c</b>	char	一文字を出力
<b>%s</b>	char *	文字列を出力
<b>%d</b>	int	整数を10進数で出力
<b>%u</b>	unsigned int	符号なし整数を10進数で出力
<b>%x</b>	unsigned int, int	整数を16進数で出力
<b>%f</b>	float, double	実数を出力

た め し に  
や っ て み  
よ う

- 名前と年齢を出力してみよう！
- ヒント: ‘`¥(バックスラッシュ)n`’で出力文字を改行できるよ！

ためしに  
やってみ  
よう(解答)

```
1  /*参照するライブラリを指定*/
2  #include <stdio.h>
3
4  /*戻り値の型 関数名 (引数の型)*/
5  int main(void)
6  {
7      /* printf */
8      /* %s = 文字列を出力 */
9      /* %d = 数字を10進数で出力 */
10     printf("My Name is = %s\nMy Age = %d", "Hinata Kikuchi", 17);
11
12     /* main関数の戻り値 */
13     return 0;
14 }
```

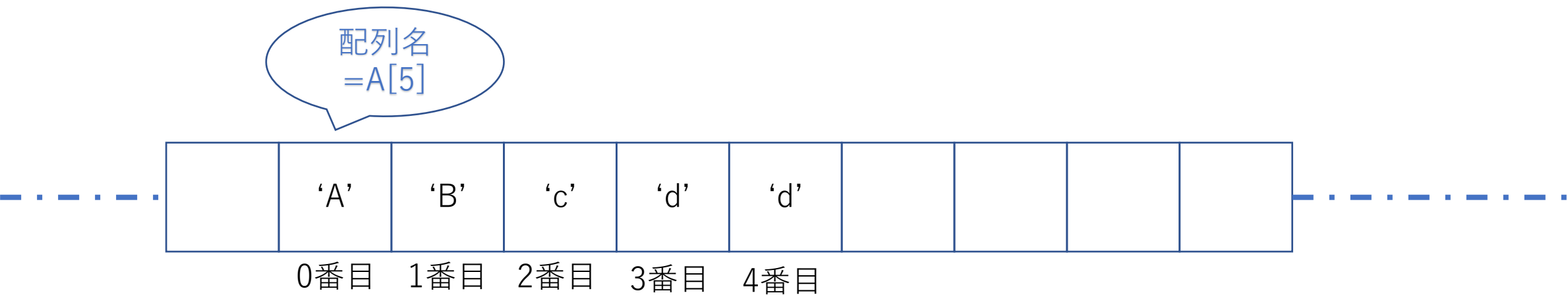
- 名前と年齢を出力してみよう！
- ヒント: '¥(バックスラッシュ)n'で出力文字を改行できるよ！

## 4.配列について

- **配列** (array) とは、同一の型のデータを（メモリ上に）一列に（隙間をあげずに）並べたものである。
- 違う型のデータを混在して並べて配列とすることはできない。
- 配列中の各データを、**配列の要素** (element) という。
- 配列には、その配列全体を指すための名前（**配列名**）がついている。



# イメージ

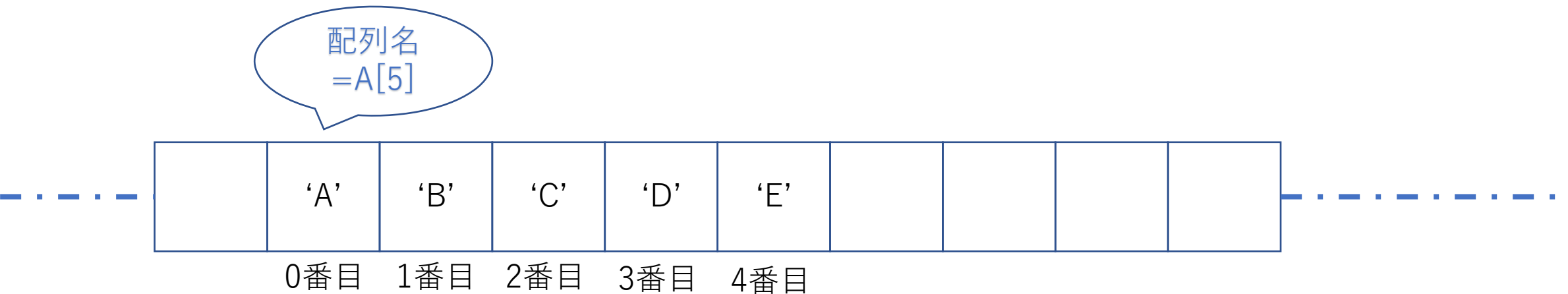


じゃあ文字列って…？

**文字列も、文字型配列の一部なのだ！！！！**

(例)

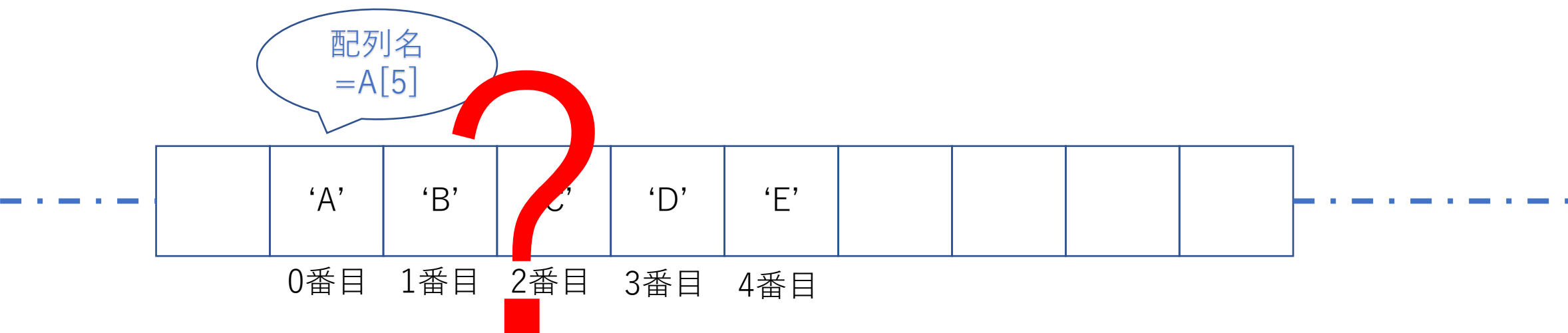
```
char Alphabet[7] = "ABCDEFGH";
```



あれでも…char \*って何…？

(例)

```
char *Alphabet = "ABCDEFGH";
```





つづく...



# 参考文献

- [1]IT 専科 C言語入門演算子  
(<http://www.itsenka.com/contents/development/c/operator.html>)
- [2]SAMURAI ENGINEER 【C言語入門】 型と変数の一覧(サイズ、範囲、宣言について解説)  
(<https://www.sejuku.net/blog/25517>)
- [3]Wakaba Programming Schoolフォーマット指定子一覧  
(<https://www.k-cube.co.jp/wakaba/server/format.html>)